

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」

製品コード：7450

構成品名：酵素基質A液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品

使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所

住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103

担当部署：SDS サポート

電話番号：0265-76-1777

e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2B

生殖細胞変異原性：区分 2

発がん性：区分 1B

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分：該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H315 皮膚刺激

H320 眼刺激

H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

H350 発がんのおそれ

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H370 臓器の障害

H371 臓器の障害のおそれ

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

- P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- P280 保護手袋を着用すること。
- P280 指定された個人用保護具を使用すること。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- P321 特別な処置が必要である。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
N,N-ジメチルホルムアミド	68-12-2	20	2-680
3,3',5,5'-テトラメチルベンジジン	54827-17-7	≤0.05	-

危険有害成分

化管法「指定化学物質」該当成分
N,N-ジメチルホルムアミド

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤**適切な消火剤**

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告**特有の消火方法**

関係者以外は安全な場所に退去させる。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし**衛生対策**

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管**安全な保管条件**

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし**8. ばく露防止及び保護措置****管理指標****管理濃度**

(N,N-ジメチルホルムアミド)

作業環境評価基準(1995) ≤ 10 ppm

許容濃度

(N,N-ジメチルホルムアミド)

日本産衛学会(1974) 10ppm; 30mg/m³ (皮)

(N,N-ジメチルホルムアミド)

ACGIH(2017) TWA: 5ppm (肝臓損傷; 眼及び上気道刺激)

特記事項

(N,N-ジメチルホルムアミド)

皮膚吸収

OSHA-PEL

(N,N-ジメチルホルムアミド)

TWA: 10ppm, 30mg/m³

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色

臭い：アミン臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経皮)

(N,N-ジメチルホルムアミド)

rat LD50=3500mg/kg (環境省リスク評価第1巻, 2002)

急性毒性(吸入)

(N,N-ジメチルホルムアミド)

vapor: mouse LC50=4.7mg/L/4hr (HSDB, 2005)

労働基準法: 疾病化学物質

N,N-ジメチルホルムアミド

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

(N,N-ジメチルホルムアミド)

ヒト軽微から中等度の皮膚刺激性 (ACGIH, 2018 et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

(N,N-ジメチルホルムアミド)

ラビット 大きな水疱から48時間後には回復 (REACH登録情報, Accessed Dec. 2018)

呼吸器感受性又は皮膚感受性データなし

生殖細胞変異原性

(N,N-ジメチルホルムアミド)

cat. 2; CER/NITE有害性評価書 No.8, 2005

発がん性

(N,N-ジメチルホルムアミド)

cat.1B; (厚生労働省委託癌原性試験, 2000)

(N,N-ジメチルホルムアミド)

IARC-Gr.2A: ヒトに対しておそらく発がん性がある

(N,N-ジメチルホルムアミド)

ACGIH-A3(2017): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(N,N-ジメチルホルムアミド)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

生殖毒性

(N,N-ジメチルホルムアミド)

cat. 1B; CER/NITE有害性評価書 No.8, 2005

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

(N,N-ジメチルホルムアミド)

肝臓 (CER/NITE有害性評価書 No.8, 2005)

[区分2]

(N,N-ジメチルホルムアミド)

呼吸器 (CER/NITE有害性評価書 No.8, 2005)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

(N,N-ジメチルホルムアミド)

肝臓 (CER/NITE有害性評価書 No.8, 2005)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

(N,N-ジメチルホルムアミド)

魚類 (ヒメダカ) LC50 > 100mg/L/96hr (環境省, 1995)

水溶解度

(N,N-ジメチルホルムアミド)

100 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2005)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

(N,N-ジメチルホルムアミド)

log Pow=-0.87 (ICSC, 2014)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄の前に、可能な限り無害化・安定化等の処理をおこなって危険有害性レベルを低下させる。地方/

国の規則に従って廃棄する。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

N,N-ジメチルホルムアミド

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機則に該当しない製品。

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

N,N-ジメチルホルムアミド (1-232)

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

N,N-ジメチルホルムアミド（政令番号27 人健康影響）
大気汚染防止法
有害大気汚染物質
N,N-ジメチルホルムアミド（中環審第9次答申の105）

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第61版（2020年）
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 : 2019
JIS Z 7252 : 2019
2019 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報（及び導入元からの情報）に基づいて作成していますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんのでいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。

安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 平成30年度）です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」

製品コード：7450

構成品名：酵素標識抗体

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品

使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所

住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103

担当部署：SDS サポート

電話番号：0265-76-1777

e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
グリセリン	56-81-5	≤30	2-242
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン及び 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンの混合物	55965-84-9	<0.1	-

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

水で数分間注意深く洗うこと。

多量の水と石鹼で優しく洗う。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

技術的対策データなし

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣を着用すること。

安全取扱注意事項データなし

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な保管条件データなし

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色～淡黄色

臭いデータなし

pH: 中性

沸点又は初留点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

化学的安定性データなし

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

LD50 ラット 862mg/kg

急性毒性(経皮)

LD50 ウサギ 2,800mg/kg

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
 生殖細胞変異原性データなし
 発がん性データなし
 催奇形性データなし
 生殖毒性データなし
 特定標的臓器毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
 生態毒性データなし
 残留性・分解性
 残留性・分解性データなし
 生体蓄積性
 生体蓄積性データなし
 土壤中の移動性
 土壤中の移動性データなし
 他の有害影響
 オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 廃棄物の処理方法
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 汚染容器及び包装
 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない
 IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない
 IATA 航空危険物規則書に該当しない
 環境有害性
 MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
 海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
 国内規制がある場合の規制情報
 船舶安全法に該当しない。
 航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。
 労働安全衛生法
 特化則に該当しない製品
 有機溶剤等に該当しない製品
 労働安全衛生法に該当しない。
 化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
 消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 : 2019
JIS Z 7252 : 2019
2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報(及び導入元からの情報)に基づいて作成していますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんのでいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。
安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」

製品コード：7450

構成品名：酵素基質B液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品

使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所

住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103

担当部署：SDS サポート

電話番号：0265-76-1777

e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

健康に対する有害性

急性毒性(吸入)：区分 4

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2(呼吸器)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2(呼吸器)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分：該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

H351 発がんのおそれの疑い

H371 臓器の障害のおそれ(呼吸器)

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器)

H401 水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋を着用すること。

- P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P280 指定された個人用保護具を使用すること。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- P321 特別な処置が必要である。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

- P403 容器を密閉して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
過酸化水素	7722-84-1	<3	1-419

危険有害成分

- 安衛法「表示すべき有害物」該当成分
過酸化水素
- 安衛法「通知すべき有害物」該当成分
過酸化水素

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤**適切な消火剤**

周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

還元性物質との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管**安全な保管条件**

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標**

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(過酸化水素)

ACGIH(1990) TWA: 1ppm (眼, 上気道及び皮膚刺激)

OSHA-PEL

(過酸化水素)

TWA: 1ppm, 1.4mg/m³

ばく露防止**設備対策**

適切な換気のある場所を取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具**手の保護具**

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色

臭いデータなし

pHデータなし

沸点又は初留点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度：水に易溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

- 急性毒性(経口)
 - (過酸化水素)
 - rat LD50=805mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)
- 急性毒性(経皮)
 - (過酸化水素)
 - rabbit LD50=690mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)
- 急性毒性(吸入)
 - (過酸化水素)
 - mist: mouse LC50=0.46-1.00mg/L/4hr (DFGOT vol.26, 2011)
- 労働基準法: 疾病化学物質
 - 過酸化水素
- 局所効果
 - 皮膚腐食性/刺激性
 - (過酸化水素)
 - ラビット 腐食性 (EU-RAR, 2003 et al)
 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
 - (過酸化水素)
 - 動物 腐食性 (EU-RAR, 2003)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
- 生殖細胞変異原性データなし
- 発がん性
 - (過酸化水素)
 - cat.2; ACGIH A3 (ACGIH 7th, 2001)
 - (過酸化水素)
 - IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない
 - (過酸化水素)
 - ACGIH-A3(1990): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
- 催奇形性データなし
- 生殖毒性データなし
- 特定標的臓器毒性
 - 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 - [区分1]
 - (過酸化水素)
 - 呼吸器 (ACGIH, 2001; EU-RAR, 2003)
 - 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
 - [区分1]
 - (過酸化水素)
 - 呼吸器 (EU-RAR, 2003)
- 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

- 生態毒性
- 水生環境有害性
 - 水生生物に毒性
 - 水生環境有害性 短期(急性) 成分データ
 - (過酸化水素)
 - 藻類 (ニッチア) EC50=0.85mg/L/72hr (EU-RAR, 2003)
- 水溶解度
 - (過酸化水素)
 - 混和する (ICSC, 2000)
- 残留性・分解性
 - (過酸化水素)
 - 急速分解性あり (EU-RAR, 2003)

生体蓄積性

(過酸化水素)

log Pow=-1.36 (ICSC, 2000)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

過酸化水素(別表第9の126)

名称通知危険/有害物

過酸化水素(別表第9の126)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

過酸化水素(政令番号89 生態影響)

水質汚濁防止法

指定物質

過酸化水素

法令番号 4

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

Supplier's data/information

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報(及び導入元からの情報)に基づいて作成していますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんのでいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。

安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」

製品コード：7450

構成品名：抗ssDNA抗体標準血清1～6, 陰性コントロール, 反応緩衝液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品

使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所

住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103

担当部署：SDS サポート

電話番号：0265-76-1777

e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
アジ化ナトリウム	26628-22-8	<0.1	1-482

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤**適切な消火剤**

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告**特有の消火方法**

関係者以外は安全な場所に退去させる。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水に排出するときは大量の水で希釈して排出すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし**衛生対策**

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件データなし

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標**

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m³; (アジ化水素酸の蒸気として) 0.11 ppm (心臓損傷; 肺障害)

ばく露防止**保護具****手の保護具**

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色

臭い：無臭

pHデータなし

沸点又は初留点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

(アジ化ナトリウム)

rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

急性毒性(経皮)

(アジ化ナトリウム)

rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

労働基準法：疾病化学物質

アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

(アジ化ナトリウム)

ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
 (アジ化ナトリウム)
 皮膚腐食性 区分1
 生殖細胞変異原性データなし
 発がん性
 (アジ化ナトリウム)
 ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない
 催奇形性データなし
 生殖毒性データなし
 特定標的臓器毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
 水生環境有害性
 水生環境有害性 短期(急性) 成分データ
 (アジ化ナトリウム)
 藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)
 水溶解度
 (アジ化ナトリウム)
 よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)
 残留性・分解性
 (アジ化ナトリウム)
 直接測定(HPLC)による分解度: 1% (既存点検)
 生体蓄積性
 (アジ化ナトリウム)
 log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)
 土壤中の移動性
 土壤中の移動性データなし
 他の有害影響
 オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 廃棄物の処理方法
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 汚染容器及び包装
 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない
 IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない
 IATA 航空危険物規則書に該当しない
 環境有害性
 MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
 海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
 国内規制がある場合の規制情報
 船舶安全法に該当しない。
 航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報(及び導入元からの情報)に基づいて作成して
いますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんの
でいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、
特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。

安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」

製品コード：7450

構成品名：陽性コントロール

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品

使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所

住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103

担当部署：SDS サポート

電話番号：0265-76-1777

e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
危険有害性物質	-	なし、あるいは濃度限界未満	-

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項データなし

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：粉末
色：白色
臭いデータなし
pHデータなし
沸点又は初留点データなし
融点/凝固点データなし
分解温度データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
動粘性率データなし
溶解度：
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
反応性データなし
化学的安定性
通常の取り扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
避けるべき条件データなし
混触危険物質
混触危険物質データなし
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
 生態毒性データなし
 残留性・分解性
 残留性・分解性データなし
 生体蓄積性
 生体蓄積性データなし
 土壌中の移動性
 土壌中の移動性データなし
 他の有害影響
 オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 廃棄物の処理方法
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 汚染容器及び包装
 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない
 IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない
 IATA 航空危険物規則書に該当しない
 環境有害性
 MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
 海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害でない物質(OS類)
 危険有害性物質
 国内規制がある場合の規制情報
 船舶安全法に該当しない。
 航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。
 労働安全衛生法
 特化則に該当しない製品
 有機溶剤等に該当しない製品
 労働安全衛生法に該当しない。
 化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
 消防法に該当しない。
 化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報(及び導入元からの情報)に基づいて作成していますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんのでいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。

安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」
製品コード：7450
構成品名：ssDNA固相化マイクロカップ

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品
使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所
住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103
担当部署：SDS サポート
電話番号：0265-76-1777
e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示なし
注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
危険有害性物質	-	なし、あるいは濃度限界未満	-

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項データなし

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 皮膚及び身体の保護具
 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：固体(粉末、又は錠剤、又は容器表面に固相化)

色：無色あるいは白色

臭いデータなし

pHデータなし

沸点又は初留点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の取り扱いにおいては安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
 生態毒性データなし
 残留性・分解性
 残留性・分解性データなし
 生体蓄積性
 生体蓄積性データなし
 土壌中の移動性
 土壌中の移動性データなし
 他の有害影響
 オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 廃棄物の処理方法
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 汚染容器及び包装
 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない
 IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない
 IATA 航空危険物規則書に該当しない
 環境有害性
 MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
 海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害でない物質(OS類)
 危険有害性物質
 国内規制がある場合の規制情報
 船舶安全法に該当しない。
 航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。
 労働安全衛生法
 特化則に該当しない製品
 有機溶剤等に該当しない製品
 労働安全衛生法に該当しない。
 化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
 消防法に該当しない。
 化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報(及び導入元からの情報)に基づいて作成していますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんのでいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。

安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」
製品コード：7450
構成品名：洗浄用緩衝液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品
使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所
住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103
担当部署：SDS サポート
電話番号：0265-76-1777
e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示なし
注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
危険有害性物質	-	なし、あるいは濃度限界未満	-

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項データなし

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体
色：無色
臭いデータなし
pHデータなし
沸点又は初留点データなし
融点/凝固点データなし
分解温度データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
動粘性率データなし
溶解度：
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分係数データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
反応性データなし
化学的安定性
化学的安定性データなし
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
避けるべき条件データなし
混触危険物質
混触危険物質データなし
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
 生態毒性データなし
 残留性・分解性
 残留性・分解性データなし
 生体蓄積性
 生体蓄積性データなし
 土壌中の移動性
 土壌中の移動性データなし
 他の有害影響
 オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 廃棄物の処理方法
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 汚染容器及び包装
 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない
 IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない
 IATA 航空危険物規則書に該当しない
 環境有害性
 MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
 海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害でない物質(OS類)
 危険有害性物質
 国内規制がある場合の規制情報
 船舶安全法に該当しない。
 航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。
 労働安全衛生法
 特化則に該当しない製品
 有機溶剤等に該当しない製品
 労働安全衛生法に該当しない。
 化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
 消防法に該当しない。
 化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報(及び導入元からの情報)に基づいて作成していますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんのでいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。

安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」

製品コード：7450

構成品名：反応停止液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品

使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所

住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103

担当部署：SDS サポート

電話番号：0265-76-1777

e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分：該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H315 皮膚刺激

H318 重篤な眼の損傷

H371 臓器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋を着用すること。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P321 特別な処置が必要である。

P310 直ちに医師に連絡すること。

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

貯蔵

P233 容器を密閉しておくこと。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
リン酸	7664-38-2	<5	1-422

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

リン酸

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

リン酸

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。コップ1-2杯の牛乳又は水を与えて胃内で薄める。吐き出させてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

還元性物質との接触を避けること。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(リン酸)

日本産衛学会(1990) 1mg/m³

(リン酸)

ACGIH(1992) TWA: 1mg/m³;

STEL: 3mg/m³ (上気道, 眼及び皮膚刺激)

OSHA-PEL

(リン酸)

TWA: 1mg/m³

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし
 溶媒に対する溶解度：水に易溶
 n-オクタノール/水分配係数データなし
 蒸気圧データなし
 密度及び/又は相対密度データなし
 粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

(リン酸)

rat LD50=ca. 2000mg/kg (SIDS, 2011)

急性毒性(経皮)

(リン酸)

rabbit LD50=1260mg/kg (85%)(100%換算値:1071 mg/kg)(SIDS, 2011)

急性毒性(吸入)

(リン酸)

mist: rat LC50=0.9615mg/L/4hr (SIDS, 2011)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

(リン酸)

ラビット 85%溶液/腐食性 (SIDS, 2011); 刺激性 I (EPA Pesticide)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

ラビット (75-85%) 腐食性 (SIDS, 2011)

呼吸器感受性又は皮膚感受性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

(リン酸)

呼吸器 (SIDS, 2011; HSDB, 2014)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

(リン酸)

魚類 (メダカ) LC50=75.1mg/L/96hr (SIDS, 2011)

水溶解度

(リン酸)

非常によく溶ける (ICSC, 2000)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

容器は水で十分に洗浄し、法令に従って適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号：1805

正式輸送名：

リン酸溶液

分類または区分：8

容器等級：III

指針番号：154

特別規定番号：223

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号：1805

正式輸送名：

リン酸溶液

分類または区分：8

容器等級：III

特別規定番号：223

IATA 航空危険物規則書

国連番号：1805

正式輸送名：

リン酸溶液

分類または区分：8

危険性ラベル：Corrosive

容器等級：III

特別規定番号：A3; A803

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当
 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害液体物質(Z類)
 リン酸
 国内規制がある場合の規制情報
 船舶安全法
 腐食性物質 分類8
 航空法
 腐食性物質 分類8

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。
 労働安全衛生法
 特化則に該当しない製品
 有機溶剤等に該当しない製品
 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
 名称表示危険/有害物
 リン酸(別表第9の618)
 名称通知危険/有害物
 リン酸(別表第9の618)
 化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
 消防法に該当しない。
 化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
 IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
 IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)
 Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
 2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
 2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
 JIS Z 7253 : 2019
 JIS Z 7252 : 2019
 2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
 Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報(及び導入元からの情報)に基づいて作成して
 いますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんの
 でいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、
 特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。
 安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。
 ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：MESACUP DNA-IIテスト「ss」

製品コード：7450

構成品名：酵素標識抗体希釈液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：体外診断用医薬品

使用上の制限：薬機法の規制にしたがうこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社医学生物学研究所

住所：〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103

担当部署：SDS サポート

電話番号：0265-76-1777

e-mail address：sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン及び 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンの混合物	55965-84-9	<0.1	-

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

水で数分間注意深く洗うこと。

多量の水と石鹼で優しく洗う。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

技術的対策データなし

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣を着用すること。

安全取扱注意事項データなし

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な保管条件データなし

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色、青色

臭いデータなし

pHデータなし

沸点又は初留点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

化学的安定性データなし

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

LD50 ラット 862mg/kg

急性毒性(経皮)

LD50 ウサギ 2,800mg/kg

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし
 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
 生殖細胞変異原性データなし
 発がん性データなし
 催奇形性データなし
 生殖毒性データなし
 特定標的臓器毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
 生態毒性データなし
 残留性・分解性
 残留性・分解性データなし
 生体蓄積性
 生体蓄積性データなし
 土壤中の移動性
 土壤中の移動性データなし
 他の有害影響
 オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 廃棄物の処理方法
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 汚染容器及び包装
 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない
 IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない
 IATA 航空危険物規則書に該当しない
 環境有害性
 MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
 海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
 国内規制がある場合の規制情報
 船舶安全法に該当しない。
 航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。
 労働安全衛生法
 特化則に該当しない製品
 有機溶剤等に該当しない製品
 労働安全衛生法に該当しない。
 化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
 消防法に該当しない。
 化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報(及び導入元からの情報)に基づいて作成していますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんのでいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。

安全データシート(SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。